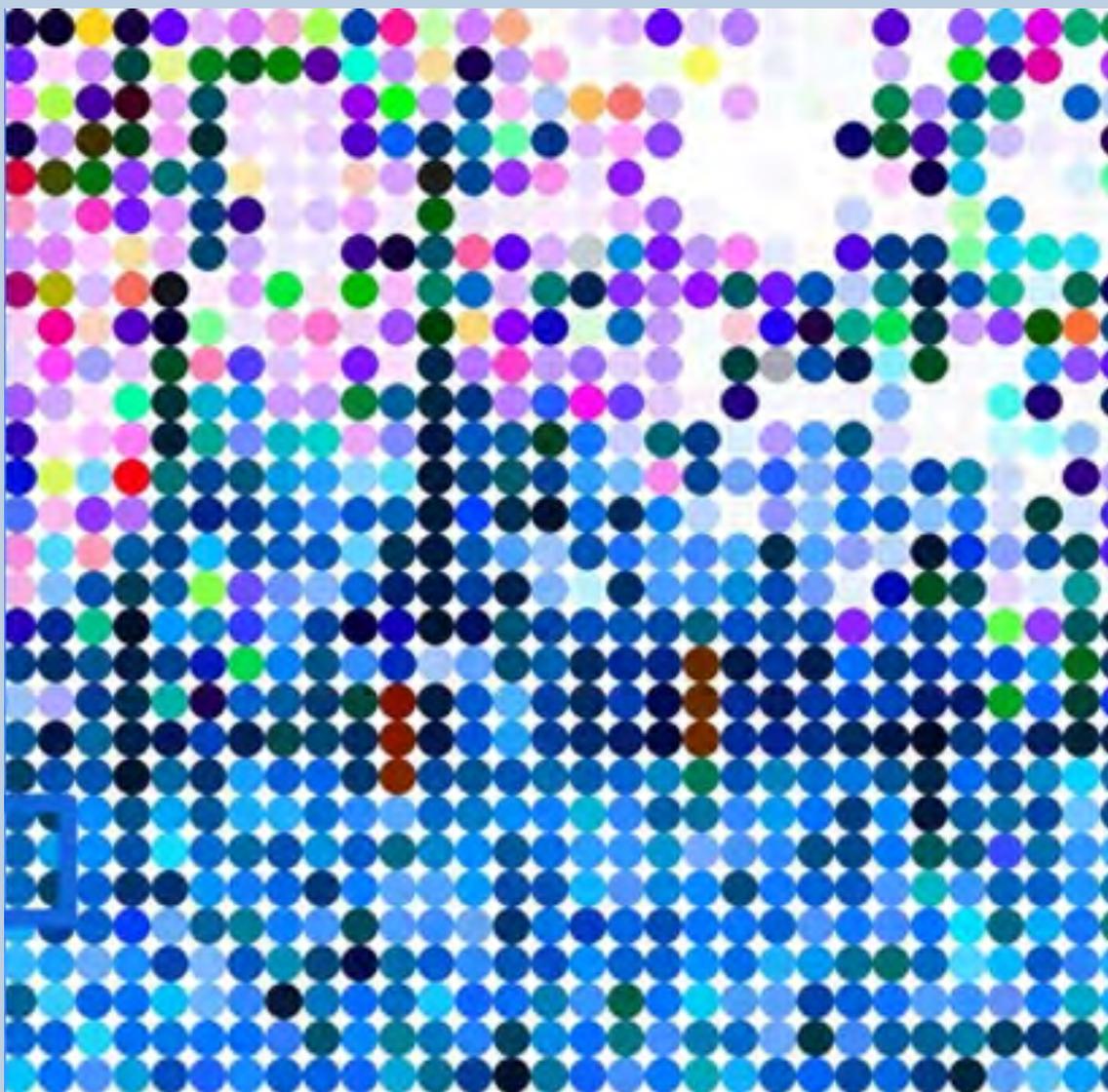


公開シンポジウム

WITH/AFTERコロナ時代の看護と デジタルトランスフォーメーション

日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会、
健康・生活科学委員会・臨床医学委員会合同
少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会主催

令和3年9月25日（土）13:00～16:00
オンライン開催



[申し込みフォームはこちら](#)



PROGRAM

コロナウイルス禍の健康危機では、テクノロジーやAIを効果的に活用し、長期的な展望をもった看護のイノベーションが求められている。デジタルトランスフォーメーションは、テクノロジーを駆使して、新たな看護を構築するモデルのひとつである。

本シンポジウムでは、コロナ禍で浮かび上がった健康と暮らしを守り育むためのデジタルトランスフォーメーションに関わる看護職と協働する専門家と共に、看護ケアの将来像を改めて考えたい。

挨拶 梶田隆章（日本学術会議会長、東京大学宇宙線研究所教授）
武田洋幸（日本学術会議第二部部長、東京大学執行役副学長）

講演（敬称略）

1. 在宅療養を変えるデジタルトランスフォーメーション

真田弘美（日本学術会議連携会員、東京大学大学院医学系研究科教授）

2. 新たなヘルスケア提供システムの構築に向けたプロアクティブケア

森山美知子（日本学術会議連携会員、広島大学大学院医系科学研究科教授）

3. 質感学と看護

西田真也（日本学術会議第一部会員、京都大学大学院情報学研究科教授）

4. ロボティクスとデジタルトランスフォーメーションー新型コロナでロボットは何をしてくれたのか？ー

萩田紀博（日本学術会議第三部会員、大阪芸術大学アートサイエンス学科長・教授、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、萩田紀博特別研究所所長）

5. 看護教育のデジタルトランスフォーメーション

小池武嗣（聖隷クリストファー大学助教）

指定発言

本間雅江（読売新聞東京本社、編集局医療部部長）

和氣純子（日本学術会議第一部会員、東京都立大学大学院人文科学研究科教授）

総合討論

司会：

小松浩子（日本学術会議第二部会員、日本赤十字九州国際看護大学学長）

萱間真美（日本学術会議連携会員、聖路加国際大学大学院看護学研究科教授）

共 催：一般社団法人 日本看護系学会協議会

後 援：公益社団法人 日本看護協会、一般社団法人 日本看護系大学協議会、
公益社団法人 日本看護科学学会

講演概要

1. 在宅療養を変えるデジタルトランスフォーメーション

真田弘美（日本学術会議連携会員、東京大学大学院医学系研究科教授）

高齢者が急増する近未来、人と先端技術が共生し、個々人が幸福寿命を全うするための自立・自律社会が望まれている。それを達成するためのロボットによる見守り、暗黙知であったエキスパート技術のARによる可視化について最新の研究を紹介する。

2. 新たなヘルスケア提供システムの構築に向けたプロアクティブケア

森山美知子（日本学術会議連携会員、広島大学大学院医系科学研究科教授）

医療保険者/自治体などが有する健康関連データや健康の社会的決定要因とデジタル技術を活用して、疾病や障害のリスクのある個人/集団をターゲティングし予防的な介入を行うことで、住民・医療保険者・医療提供者がwin-win-winとなるヘルスケア提供システムの構築について提案を行う。

3. 質感学と看護

西田真也（日本学術会議第一部会員、京都大学大学院情報学研究科教授）

人間は五感を通じて事物や人のさまざまな質感（材質、状態、生態学的意味など）を感じ取る能力を備えている。質感に関するサイエンス&テクノロジーの最新動向を紹介し、看護への応用の可能性を議論する。

4. ロボティクスとデジタルトランスフォーメーションー新型コロナでロボットは何をしてくれたのか？ー

萩田紀博（日本学術会議第三部会員、大阪芸術大学アートサイエンス学科長・教授、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、萩田紀博特別研究所所長）

「新型コロナでロボットは何をしてくれたのか」について、世界の事例と今後の展望としてムーンショット目標1のサイバネティック・アバターの事例を述べる。

5. 看護教育のデジタルトランスフォーメーション

小池武嗣（聖隷クリストファー大学助教）

ICT技術の進歩とともに、デジタル教材の活用が身近になり、現場では今、一斉に看護教育のDXが進められている。シンポジウムでは、実際に開発しているデジタル教材を紹介しながら、これからのデジタル世代に向けた「看護教育のDX」の未来についてお話する。